

JICA 教師研修 学習指導案・授業実践報告書

【実践者】

氏名	富澤 喜一	学校名	東京都立 荒川工業 高等学校 定時制課程
担当教科等	現代社会	対象学年（人数）	3年A・B組（5名）
実践年月日もしくは期間（時数）	2022年7月 ～ 12月（14時間）		

【実践概要】

1. 実践する教科・領域：現代社会				
2. 単元(活動)名：世界の難民問題・多文化共生社会について				
3. 授業テーマ（タイトル）と単元目標 授業テーマ：「 移民・難民とは 」 単元目標：多文化主義の重要性を理解させる。世界の難民の現状と課題解決を考察する。 関連する学習指導要領上の目標：よりよい社会の実現を視野に、現代の諸問題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現在社会に生きる人間としての在り方や生き方についての自覚や公共的な空間に生き、国民主権を担う公民として自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚を深める。				
4. 単元の評価 規 準	①知識及び技能	人種問題でアパルトヘイト廃止などを例に理解している。 戦争・紛争で難民国内避難民が生じることを理解している。		
	②思考力、判断力、 表現力等	パレスチナ問題で歴史的な背景を踏まえてなぜ解決が難しいのかを考察している。どのような援助を必要とされているかを協働的に考察・構想しそれらを適切に表現している。		
	③学びに向かう力、 人間性等	よりよい社会の実現を視野に多文化主義について学習したことを日常生活で他者との関係に生かそうとしている。		
5. 単元設定の理由・単元の意義 (児童／生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】日本という島国に暮らす高校生にとって国籍や難民問題など身近な事ではないと感じる傾向にあるが本当に身近な事に気付いてほしいため。 【単元の意義】グローバル化する国際社会を学ぶにふさわしいと考える。 【児童／生徒観】真面目な生徒たちで大人しい面もあるが、お互いに切磋琢磨しながら個人だけでなく全体で伸びようとする底力がある。 【指導観】大変ノリがよく、教員が指名する前にしっかりと自分たちで考えようとする。少し難問に当たると固まってしまう生徒も中にいる。			
6. 単元計画（全 10 時間）				
	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1	異文化理解	開発途上国の生活・文化を通し「異文化理解」を深める	JICA 出前授業	ジンバブエ共和国派遣「岩崎健太郎」外部講師の先生による授業
2	国際理解	世界の原産国と流通を通して日本との繋がりを学ぶ	カードを使って日本へ輸入されてくる品物と国名や国旗、場所などゲームを通して学習する。	「モノはどこからきているの」カードゲーム

3	国際協力 JICA と SDGs	平和を維持するため には人権保障や生活 の安定平時の努力が 必要	JICA について学ぶ SDGs を通して国際社会を学ぶ 「バナナペーパーができるまで」	「SDGs のうた」 「未来への分岐点」 NHK 放送の録画 JICA 東京バナナ ペーパー
4	国際政治 の成立	国際政治の主体が、 主権をもつ国家であ ること	国家の三原則など	ワークシート
5	国際社会 と国際法	国際政治の変化 領土問題	北方領土問題や尖閣諸島、竹島に ついて領土問題の歴史的背景など を学び考える	教員が ICT を操作 し て日本の領土問題 を 取り上げ説明する
6	国際連合	国際組織のネットワ ーク	平和を維持するためには人権保障 や生活の安定など紛争が起こらな いように平時の努力が求められる	ワークシート
7	冷戦終結	東西対立と関係変化 ソビエト連邦の解体	冷戦構造がもたらした戦争・紛争 について学習。1980 年代後半から の関係変化と東西ドイツ統一・ ソビエト連邦解体	ワークシート
8	不安な世 界	冷戦がもたらした負 の側面を知る	多発する民族紛争に対して世界が どの様に対処するべきか考える	ワークシート
9	地域大国 の台頭と 多極化す る世界	近年の国際状況を展 望する	大国の思惑は何か。混迷を極める 中東地域の現状を理解する	ワークシート
10	人権問題 の展開	人権問題は民主政治 確立や基本的人権が 保障されていても起 こる	差別を生み出した構造を歴史的に 理解させ、国際社会の圧力などが これらの問題解決を導いたことを 理解する。	アパルトヘイト 政策撤廃について
11	人種・民 族問題	ナショナリズムにど のような問題がある か	現在の難民問題・民族問題を考え る 事前課題プリント	情報番組 ワイドスクランブ ル録画映像
12 本時	移民・難 民問題	マイノリティ 多文化共生 アイデンティティ	前時の内容を振り返って事前課題 について確認する。○×クイズ問 題を通して一人ひとりが移民・難 民について考える。	○×クイズ問題 振り返りシート
13 本時	移民・難 民問題	世界と日本の難民 問題	今後どのようにしていく事が望ま しいのかをブラッシュアップして 発表する。	○×問題 振り返りシート
14	人権問題	多文化共生 人間の安全保障 人権	移民難民問題に対する日本の対応 日本で暮らすクルド民族について	映画 『マイスマールラ ンド』

7. 本時の展開（1 2 時間目・1 3 時間目 連続授業）			
本時のねらい：クラス全体での話し合いや個人の発表を聞くことを通じて自分ひとりでは考えただけでは浮かばなかったアイデアや考え、そして多様な見方や意見がある事に気付かせる。			
移民・難民について普段考えなかったこと、触れなかったことを考えて理解、発表の場をつくる。			
過程・時間	教員の働きかけ・発問および学習活動 ・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料（教材）
導入 (10分)	前時までの振り返り、課題の取組状況の確認	民族の区別と国境は一致しないことを確認する。身近に問題があることを考えさせる。	○×問題ワークシート ○×うちわ使用 パワーポイント
展開 (25分)	「難民」「国籍」についての「○×問題」をクイズ形式で確認する。		
まとめ (10分)	「国籍」「難民」について考えをまとめ発表する それぞれの考えについて話し合いをする 世界の民族や宗教、文化も尊重する姿勢をもつことが問題解決へとつながること忘れない。		
導入 (10分)	「日本にいる難民について考えてみよう」	問 日本にはどのくらい難民がいるのだろうか 机間巡視のなかで生徒一人ひとりに声掛け	ニュース映像を観て考える エピソードシート 日本にいる難民ワークシート 振り返りシート
展開 (25分)	個人ワーク 5 枚のエピソードシートをランダムに配りひとりずつ個人で読み込み、生徒一人一人が自分の考え・感じたことなどをワークシートへ記入		
まとめ (10分)	全体共有 解説 ふりかえり		
8. 評価規準に基づく本時の評価方法			
国際社会では難民問題が生じていることを理解している 失敗を恐れずに積極的な意見を考えて発表することができる 他者の意見を聞き入れながら協調し個人の意見も持っている			
9. 学習方法及び外部との連携			
・本授業は普段触れることが少ない国籍等についても触れる ・移民・難民問題中心に考えて国際理解、国際協力を考える			
10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組			
東京都地理教育研究会、歴史教育者協議会などでの発表			

【自己評価】

11. 苦労した点	テーマを絞り込むために2学期の「国際社会」をしっかりと学び、そのうえで日々変化の連続で現在、起きている現代社会の問題について考えさせる。 また、こちらが与えたテーマよりも生徒たちが自主的にと取り組みたいと考えることを取り上げたいと考えてニュースを録画するなど工夫をした。
12. 改善点	5人が5通りのエピソードシートを読み発表をしたが、ジグソー法などを用いた話し合いをもっと深くできないかと考え、改善・改良していきたい。

『移民・難民問題については本やインターネットの動画でしか、知らなかったけど、実際にこうやって話す機会が（今まで）なかったから良い経験をしました。』
 など感想文より気づきの意見多数あり。

第3章 第3節 (政治運動) 3年生 現代社会 社会教育 「政治・市民教育」

第15行(15)は書けると思う。大々大 思、そこを省略し、115(1)を117で代わろう。

命の危険にさらされ、難民として他の国に送れている人達は、民主化運動に参加したら、政府から拷問をうけるなどの仕打ちをされているのに、難民申請書を書いて通らなからにして、ほんとうに大変な目にあっているなど思いました。人は同じ人間なのだから、苦しみ合おうじゃないですか。

[illegible]

現代社会の国際社会と人類の課題を通して「問題解決型学習」に反映させたいと考えていた。その中で JICA 東京の教員研修に参加し、沢山の気づきを頂いた。生徒たちへしっかりと還元し、生徒一人一人がアウトプット出来るような授業づくりを心がけた。その中で「難民移民」問題を色々な視点から取り組むことが出来た。SDGs を通して問題の解決方法を考えることも生徒たちは行うようになった。自ら

が問題を発見して解決する能力を養うことを自然と実践している。移民難民や平和など国際問題の中でも取り上げられるが、一人ひとりの自由を互いに承認し合う感性や価値観を育むことが授業で微力であるが実践出来たと自負している。



使用した教科書・単元名：「最新 現代社会 新訂版」実教出版

参考資料：書籍

「未来の授業 SDG s ダイバーシティBOOK」(監修：佐藤真久 宣伝会議)

「国籍の？がわかる本」(著：木下理仁 株式会社太郎次郎エディタス)

「日本で生きるクルド人」(著：鵜沢哲雄 ぶなのもり)

「クルドを知るための55章」(編著：山口昭彦 明石書店)

「親子で学ぶSDG s」(著：バウンド 寄与者：岩附由香 扶桑社)

「図録 SDG s と仏教展」(著：本門佛立宗 京都佛立ミュージアム)

「難民に希望の光を 真の国際人 緒方貞子の生き方」(著：中村恵 平凡社)

「トルコ民族の世界史」(著：坂本勉 慶應義塾大学出版会)

「開発教育 基本アクティビティ集2 難民」(開発教育協会)

「ある日の入管」(著：織田朝日 扶桑社)

参考資料：映像資料

映画「マイスモールランド」

NHK「SDGs のうた」 「未来への分岐点」

TBS「情報番組 ワイドスクランブル」

とくべつじゅぎょう いみん なんみん じぶん かんが
特別授業 移民・難民について、自分たちにできることを考える

3 年 組 番 氏名

◆ 特別授業「移民・難民」について

◆ 日時 12月14日（水） 1・2限（17：55～19：30）

◆ 事前学習（下調べ）

① 難民

なんみんじょうやく では、じんしゅ しゅうきょう こくせき とくてい しゃかいしゅうだん こうせいいん
難民条約では、人種・宗教・国籍・特定の社会集団の構成員であること、または、せいじていきけん
理由に迫害されるおそれがあり、こくせきのある国にそとにいて、じこくほごうを受けられない、または
受けることを望まない人々としています。また他の地域条約や国連決議により武力紛争から逃れて
きた人々も難民として保護される。

② （国内）難民

ないせん せいめい きけん さ
内戦など生命の危険を避けるために、じぶん こきょうからに 逃げ出し、こっきょうをこえずにこくないにとどまって
いる人々。

③ 移民

いじゅう りゆう ほうてき い かんけい じぶん くに た くに いどう ていじゅう ひとひと にほん いっぽんてき
移住の理由や法的地位には関係なく、自分の国から他の国へ移動して定住する人々。日本では一般的
に「労働を目的として長期間または永久に外国へ移り住む人々」という意味で使われることが多い。

④ 移住

しごと こと ちいき くに た ところへ うつ ひとひと はたら
仕事や異なるライフスタイルを求めてある地域や国から他のところへ移る人々の働き。

⑤ 出入国管理

こっきょう こうこう くに かんり
国境や空港、港など、人が国家間の出入りをする場合に行われる審査や手続きなど。

⑥ 自発的帰還

なんみん じはつてき しかん
難民が自分の意志で出身国へ帰ること。

⑦ 庇護国

なんみん いちしてき ひご ちよわ たちば ちの まち くに
難民を一時的に庇護する（弱い立場の者をかばって守ること）国のこと。

⑧第三国定住

難民キャンプなど一時的な庇護を受けた難民が、新たな受け入れに合意した第三国へ移動し定住すること。

⑨国連難民高等弁務官事務所（UNHCR）

第二次世界大戦後の1950年に、避難を余儀なくさせられ、家を失った何百万人ものヨーロッパの人を救うために設立された国連機関。

⑩難民条約

第二次世界大戦後、国連加盟国の間で難民問題に対する意見が高まり、難民の保護を保障し問題を解決するためには、国際的な協調と団結が非常に大切であるという認識に基づいて、1951年に「難民の地位に関する条約」が採択されました。その後1967年に「難民の地位に関する議定書」が採択され、通常この2つを合わせて「難民条約」という。

⑪クルド人とは

クルド人は独自の言語と文化を持つ民族で、主にトルコ南東部、イラク北部、シリア北東部、イラン北西部にまたがる「クルディスタン」（クルドの土地・国）と呼ばれる一帯に居住している。クルド語にも方言があり、文字も共通しているわけではない。推定人口は約3千万人。ただ、各国では少数派で、差別や弾圧の対象になってきた。

⑫ロヒンギャとは

ミャンマーのイスラム系少数民族。ロヒンギャ族はインドのベンガル地方（現在のバングラデシュ）に暮らす民族で、言語はロヒンギャ語（ベンガル語のチッタゴン方言の一つ）を話すとされている。民族の人口は推定100万人とされており、イスラム教徒（ムスリム）として何世代にもわたり同国で暮らしている。

⑬アイデンティティ

自分が自分であること、さらにはそうした自分が、他者や社会から認められているという感覚のこと。日本語では「自我同一性」と言うことや、「存在証明」と訳すこともある。

⑭マイノリティ（少数派）

一般的には種族や宗教または言語を基準として一国のなかで支配的な集団となっていない集団。

1. 選^{えら}んだカードの基^き本^{ほん}情^{じょう}報^{ほう}を書^かきましょう。

① 《モノ》

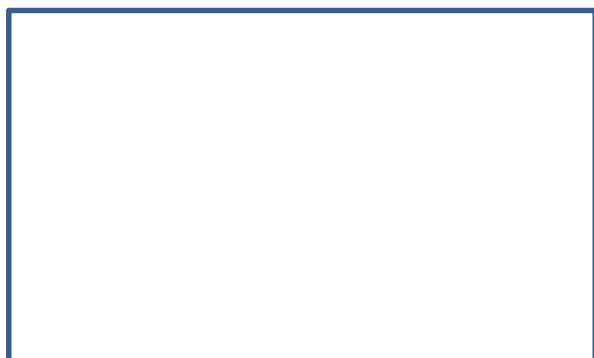
② げんざいりょう
【原材料】

③ げんさんこく
【原産国】

2. ① 《モノ》につい^{せつめい}て説明を（メーカーなど）してみましよう。

3. ② げんざいりょう
【原材料】につい^{せつめい}て説明をしてみましよう。

4. ③ げんさんこく
【原産国】につい^{こっき えが}て国旗を描いてみましよう。



5. ③ ^{げんさんこく}〔原産国〕について世界地図で示してしてください。



6. ^{エスディージーズ} S D G s に ^{ちゅうもく}注 目 して、^あ当 て は ^{こうもく}ま る ^か項 目 を ^だ書 き 出 し て み ま し ょ う。

7. ^{さいご}最 後 に ^{じぶん}自 分 の ^{いけん}意 見 ・ ^{かんそう}感 想 を ^か書 き ま し ょ う。

《国籍の？クイズ》

問題1 人はだれでも国籍を持っている。 【○・×】

問題2 日本には100万人以上の外国人が住んでいる。 【○・×】

(旅行者や一時的な滞在はのぞく)

問題3 日本に住む外国人は所得税や住民税を支払う必要がない。 【○・×】

問題4 日本語ができない人は日本で車の運転免許を取ることができない。 【○・×】

問題5 外国籍の子どもでも日本で生まれたら日本国籍が与えられる。 【○・×】

問題6 国際結婚をするときは夫婦どちらかの国籍を選ばなければならない。 【○・×】

問題7 結婚したらだれでも名字は夫婦同じにしなくてはいけない。 【○・×】
日本人どうしでの結婚でも、国際結婚でも。

問題8 二重国籍の状態していると法律で罰せられる。 【○・×】

問題9 日本に住んでいる外国人は、国や地方自治体の選挙で投票することができない。 【○・×】

問題10 外国人が日本に帰化するときは日本人のような名前にしなければならぬ。 【○・×】

《い み ん なん み ん移民・難民クイズ》

- 問題 1 せ かい なん み ん か ず だ い に じ せ かい たい せん ご ふ え つ つ け て世界の難民の数は第二次世界大戦後、増え続けている。【○・×】
- 問題 2 ね ん ね ん かん も つ と せ かい なん み ん う い こ く2014～2017年の4年間で最も世界で難民受け入れ国はトルコである。【○・×】
- 問題 3 に ほ ん や く に ん なん み ん日本には約7,500人の難民がいる。【○・×】
- 問題 4 なん み んアインシュタインは難民であった。【○・×】
- 問題 5 なん み ん じ ょ う や く なん み ん し ゅ つ し ん こ く お か え難民条約では難民を出身国に追い返すことはできない。【○・×】
- 問題 6 こ じ ん し ん せ い なん み ん み と ば あ い個人で申請しなくても難民として認められる場合がある。【○・×】
- 問題 7 なん み ん に ん て い難民であることを認定するのはユニセフである。【○・×】
- 問題 8 め い じ し ょ う わ た す う に ほ ん じ ん なん み ん なん ぼ く明治から昭和にかけて多数の日本人難民が南北アメリカや
と う な ん わ た東南アジアなどに渡った。【○・×】
- 問題 9 なん み ん こ が つ こ う難民キャンプでは子どもたちは学校にいくことができる。【○・×】
- 問題 10 こ く が い の が なん み ん し ゅ つ し ん こ く国外に逃れて難民になると、出身国へかえってはいけない。【○・×】
- 問題 11 に ほ ん なん み ん ひ と ほう り つ じ ょ う は た ら日本にいる難民の人たちは法律上働くことができない。【○・×】
- 問題 12 に ほ ん せ い ふ せん そう ふ ん そう こ く が い の が ひ と日本政府は、戦争や紛争から国外に逃れた人を
なん み ん か い し ゃ く難民とは解釈していない。【○・×】
- 問題 13 せ い ふ ひ はん は く が い う こ く が い の が ひ と なん み ん政府を批判したため、迫害を受けて国外に逃れた人は難民である。【○・×】
- 問題 14 かん き ょ う は か い し ぜん さい が い こ つ き ょ う こ の が ひ と なん み ん環境破壊や自然災害のために国境を越えて逃れてきた人は難民である。【○・×】
- 問題 15 かん し ょ くり ょ う ふ そ く こ の が ひ と なん み ん干ばつのために食糧が不足し、国境を越えて逃れた人は難民である。【○・×】

とくべつじゅぎょう いみん なんみんちんだい じぶん かんが
特別授業 移民・難民問題から、自分たちにできることを考える

3年 組 番 氏名

- ◆ 日時 12月14日（水） 1・2限（17:50～19:30）
- ◆ 内容 移民・難民問題を通して、「異文化理解」を深める。

<メモ欄>

◆ 講座後（講義終了後）に書きましょう（講演終了後～19:30まで）

- ① 今日の講座を聞いて、どうでしたか？ あてはまるものに○をつけてください。

とてもよかった よかった ふつう わるかった とてもわるかった

- ② ①の理由（Reason）を教えてください（ある・なしの理由をかきましょう）。

- ③ 今日のお話で、ポイント（気になったこと・感じたこと・大切だと思ったこと）はなんでしょう？

- ④ ③の理由（Reason）を教えてください（ない場合は、「ない」という理由をかきましょう）。

感想 (Impressions)、気になったこと・考えたことをまとめましょう。

※15行くらいは書けると思うよ。大丈夫。思ったことを素直に、いろいろ書いてみましょう。

[illegible]

